

首都圏アグリファーム 株式会社

～ 狭山茶の味と技術と景観を未来に継ぐ ～

<基本情報>

- 所在地：埼玉県入間市 ○ 経営面積：78.5ha
- 取組開始：2018年 ○ 構成員：35名
- 主要作物：茶

きっかけ

- ・後継者難による茶園の減少
- ・民間企業の役員が「狭山茶産地を守りたい」との思いで、2015年に法人を設立し、新規参入
- ・2018年GAPの取組を開始し、2019年にASIAGAPの認証を取得

取組内容

・GAP手法による栽培工程や荒茶製造工程の管理を徹底し、全職員がリスクを認識し、PDCAサイクルを回しながら作業改善に取り組む。

・各工程の管理手順を全職員で話し合う中で、熟練者の技術の継承や高位平準化

・セットバックや茶園の向きを統一し、乗用型管理機の安全・効率利用

・地域内での競合を避け、異物混入等厳しい対応が求められる飲料メーカーへの販路確保

・環境負荷低減のため、荒茶工場において都市ガスや廃熱利用によるCO₂削減

効果

・安全で効率的な茶園経営を確立

・毎年5～10haの茶園を引き受けることが可能
(ほ場面積は、2023年/2018年:175%)

・現在、狭山茶産地を守る、地域にとってなくてはならない企業へ発展